

御嶽海 見つめ直し 積み上げた先に

年 組 名前

大相撲の御嶽海が、大関に昇進しました。御嶽海は、大関に昇進するチャンスが2度ありましたが、実現しませんでした。この間、御嶽海の気持ちは、どう変わってきたのでしょうか。松井哲明記者の記事を読んでみましょう。

- ① 2度目の大関とりに失敗した御嶽海は、朝乃山、正代に昇進で先を越され、どんな気持ちになりましたか。
- ② 新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、後援者などとの接触や出稽古^{でげいこ}が禁止になりました。御嶽海は三役の座を維持したものの、どんなことに悩んだと話していますか。
- ③ 父の春男さんから「結果じゃなく『御嶽海ここにあり』っていう相撲を見せろ」と指摘され、改めてどんなことを考えましたか。
- ④ 自分自身を見つめ直した御嶽海は、進むべき道を何と決めましたか。
- ⑤ 進むべき道を決めた御嶽海は、どう変わりましたか。

2度目の大関とりを白紙に戻してから2年余。御嶽海が満を持して大関昇進を確実にした。この間、新型コロナウイルス禍も足かせになって自分を見失いかけていた。木曾が生んだ逸材が幹を太くし、樹形を整えて大木となった。

2度目の大関とりに失敗したが、2019年11月の九州場所。翌20年には、三役経験で大きく下回る朝乃山、正代に昇進で先を越された。「自分が否定されていると感じた」。三役でほぼ毎場所勝ち越している安定感に自負があったが、無力感を覚えた。

この年から新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、生活が一変。朝稽古や夜の宴席で後援者と接し、期待を肌で感じながら自分の気持ちに乗せてきたが、接触禁止で外部の声も把握しづらくなった。それまで見向きもしなかったネット上の批判的なコメントを気にする時期もあった。

あっさりした負け方が顕著になったのも、この頃。出稽古が禁止されたため、本場所で作戦に頼る傾向を強めた中で、想定外の苦境に陥ると体が「やばい」となり、我慢できなかった。20年5月の夏場所の中止もあって15日間を乗り切る力を高められず、流れに乗れなかった。

三役の座は維持したものの、「8勝すればいいと心のどこかで思っている。勢いを失い、成長が止まっている気がして怖い」と悩んだ。

そんな時、父の春男さん(73)から「結果じゃなく『御嶽海』ここにあり」って

見つめ直し 積み上げた先に

「2022年1月24日朝刊：1面」
 という相撲を見せろ」と指摘された。朝乃山、正代に先に昇進を許したことは、発奮材料の1番手になりきらなかった。ではなぜ、相撲を取るのか…。そう考え直した。

本名の久司は「久しく、司つかさどる。一つの職業に就いたら長く続けてほしい」(春男さん)との意味。御嶽海は幼少期から、社会人は着実にお金を稼いで自立することが本分と教わってきた。プロ入りは、その延長線上にあった。稼ぎを得るためには御嶽海らしい相撲を取ることに。上を目指す姿勢を前面に出して、プロとして注目を集めること。取るべき相撲の質を見直し、毎場所の2桁勝利を求める―と進むべき道を定めた。

ネット上のコメントが気にならなくなり、テレビ中継の録画を見る際は解説や実況の音声を切るようになった。場所の途中に結果が出ないと思いつめて失速する傾向があったが、心の中で「朝乃山や正代もなれたんだから、自分もいつか大関になれる」などと気を紛らわせ、うまく切り替えるようになった。

千秋楽の優勝インタビューで、司会者から昇進確実の事実を知らされた後、思いが込み上げて言葉に詰まり、30秒近い間があった。「ここまで長かった…。22年の年賀状に添えた文句は、一つのことにはたすら集中するという意味の「一意専心」。自分を信じ、御嶽海らしさを積み上げた先に、3度目の正直の昇進は待っていた。

(松井 哲明)

御嶽海 見つめ直し 積み上げた先に

解答例

年 組 名前

大相撲の御嶽海が、大関に昇進しました。御嶽海は、大関に昇進するチャンスが2度ありましたが、実りませんでした。この間、御嶽海の気持ちは、どう変わってきたのでしょうか。松井哲明記者の記事を読んでみましょう。

① 2度目の大関とりに失敗した御嶽海は、朝乃山、正代に昇進で先を越され、どんな気持ちになりましたか。

【解答】 自分が否定されていると感じた
無力感を覚えた

② 新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、後援者などとの接触や出稽古^{でげいこ}が禁止になりました。御嶽海は三役の座を維持したものの、どんなことに悩んだと話していますか。

【解答】 勢いを失い、成長が止まっている気がして怖い

③ 父の春男さんから「結果じゃなく『御嶽海ここにあり』っていう相撲を見せろ」と指摘され、改めてどんなことを考えましたか。

【解答】 なぜ、相撲を取るのか、ということ

④ 自分自身を見つめ直した御嶽海は、進むべき道を何と決めましたか。

【解答】 御嶽海らしい相撲を取ること
上を目指す姿勢を前面に出して、プロとして注目を集めること
取るべき相撲の質を見直し、毎場所の2桁勝利を求める

⑤ 進むべき道を決めた御嶽海は、どう変わりましたか。

【解答】 ネット上のコメントが気にならなくなり、テレビ中継の録画を見る際は解説や実況の音声を切るようになった
心の中で気を紛らわせ、うまく切り替えるようになった